

ライフサイクルマネジメントライセンス & モジュール (PY-LCM11/ PYBLCM11/ PY-LCM12)**ライフサイクルマネジメントライセンス (PY-LCM13/ PYBLCM13)****ライフサイクルマネジメントライセンス (PY-LCM14/ PYBLCM14)****(1) 概要**

ライフサイクルマネジメントライセンス & モジュール[以下本オプション]は、2013 年 9 月以降に発表された PC サーバ PRIMERGY に標準搭載されているリモートマネジメントコントローラ(iRMC S4/S5)の機能追加オプションです。

本オプションでは、アップデート管理機能、ログデータ管理(PrimeCollect)機能、イメージ管理機能等サーバの導入・運用・メンテナンスまでライフサイクル全体に渡って管理することが可能です。

また、機能については、リモートマネジメントコントローラのファームウェア更新により新たな機能を順次追加していく予定です。追加次第、本資料を更新いたします。

(2) 機能

- ①アップデート管理機能: サーバ本体の状態に依存せず、BIOS・ファームウェア等のアップデート可能。
- ②ログデータ管理(PrimeCollect)機能: 構成情報を自動取得し、取得したデータを SD カードに保管可能。
- ③イメージ管理機能: ISO イメージを SD カードに格納し、ブート利用可能。
- ④インストール機能(eIM): サーバのセットアップに必要な各種インストールが可能。
- ⑤診断機能(eDM): サーバコンポーネントのテスト実施により、コンポーネントの異常・故障を検出診断可能。
- ⑥RAID 設定機能(eRM): サーバの内蔵ストレージの RAID 監視・管理・設定可能。

(3) 仕様

本オプションは、リモートマネジメントコントローラ(iRMC S4/S5)の下記機能を有効にするためのライセンスキー及び microSD カードです。

項目	仕様	
品名・型名	ライフサイクルマネジメントライセンス & モジュール: PY-LCM11/PYBLCM11/PY-LCM12 ライフサイクルマネジメントライセンス: PY-LCM13/PYBLCM13/PY-LCM14/PYBLCM14	
機能	① アップデート管理機能 ② ログデータ管理(PrimeCollect)機能 ③ イメージ管理機能 ④ インストール機能(eIM) ⑤ 診断機能(eDM)(*5) ⑥ RAID 設定機能(eRM)	
適応 OS	使用 OS 非依存	
適応機種	(5)項参照	
提供形態	PY-LCM11/ PY-LCM12	■ eLCM Activation Pack(アクティベーションキー生成用ドキュメント): eLCM Activation Pack に記載された TAN(アクティベーションキー生成用 ID) を使用しアクティベーションキーを取得(*1) ■ microSD カード(16GB)
	PYBLCM11	■ サーバ本体にアクティベーションキーを登録した状態で提供(*2) ■ microSD カード(16GB) (*3)
	PY-LCM13 PY-LCM14	■ eLCM Activation Pack(アクティベーションキー生成用ドキュメント): eLCM Activation Pack に記載された TAN(アクティベーションキー生成用 ID) を使用しアクティベーションキーを取得(*1) (*4)
	PYBLCM13 PYBLCM14	■ サーバ本体にアクティベーションキーを登録した状態で提供(*2) (*4)

(*1):お客様ご自身でアクティベーションキーの生成・有効化作業が必要となります。

(*2):サーバ本体の保証書にアクティベーションキーは記載されます。

(*3):PYBLCM11 手配時、microSD カードはサーバ本体に搭載された状態で出荷されます。

(*4):PY-LCM13/PYBLCM13/PY-LCM14/PYBLCM14 サポート機種は、本オプションの手配有無に関わらず、microSD カードが本体ベースユニットに標準搭載された状態で出荷されます。

(*5):PY-LCM13/PYBLCM13/PY-LCM14/PYBLCM14 では、診断機能(eDM)非サポートとなります。

(4) 機能概要

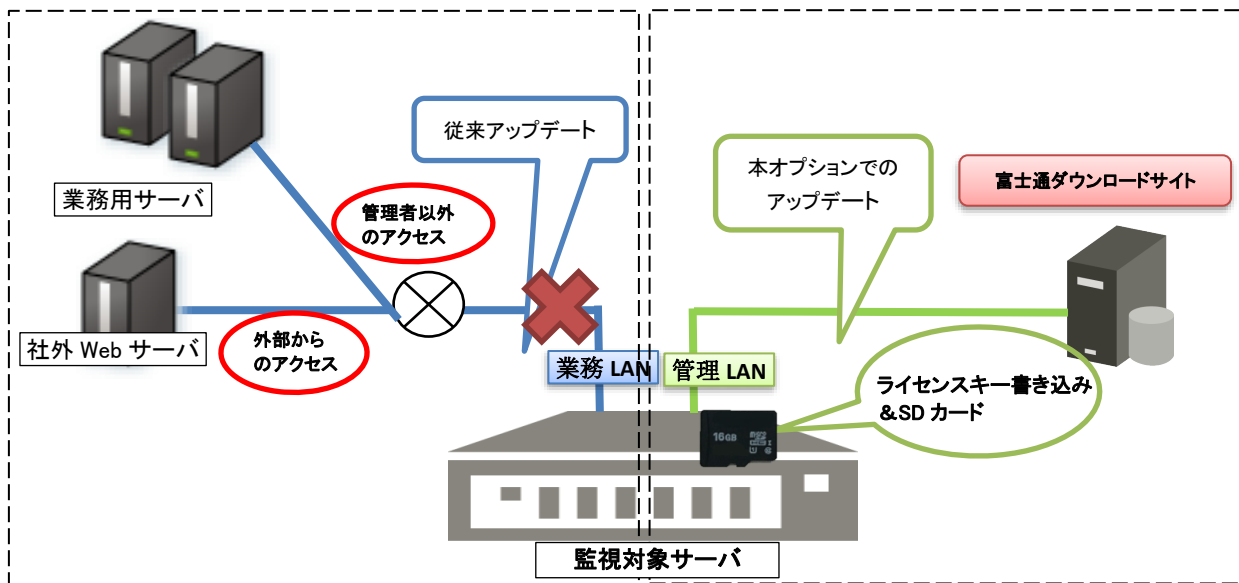
<機能一覧>

機能名称	概要
① アップデート管理機能	サーバ本体の状態に依存せずに BIOS・ファームウェア等の各種アップデートが可能となる機能
② ログデータ管理 (PrimeCollect)機能	構成情報を自動取得し、取得したデータを SD カードに保管する機能
③ イメージ管理機能	ISO イメージを SD カードに格納し、ブート可能となる機能
④ インストール機能(*1)	サーバのセットアップに必要なインストールが可能となる機能
⑤ 診断機能(*1)	サーバコンポーネントのテスト実施により、コンポーネントの異常・故障を検出・診断する機能
⑥ RAID 設定機能(*1)	サーバの内蔵ストレージの RAID 監視・管理・設定する機能

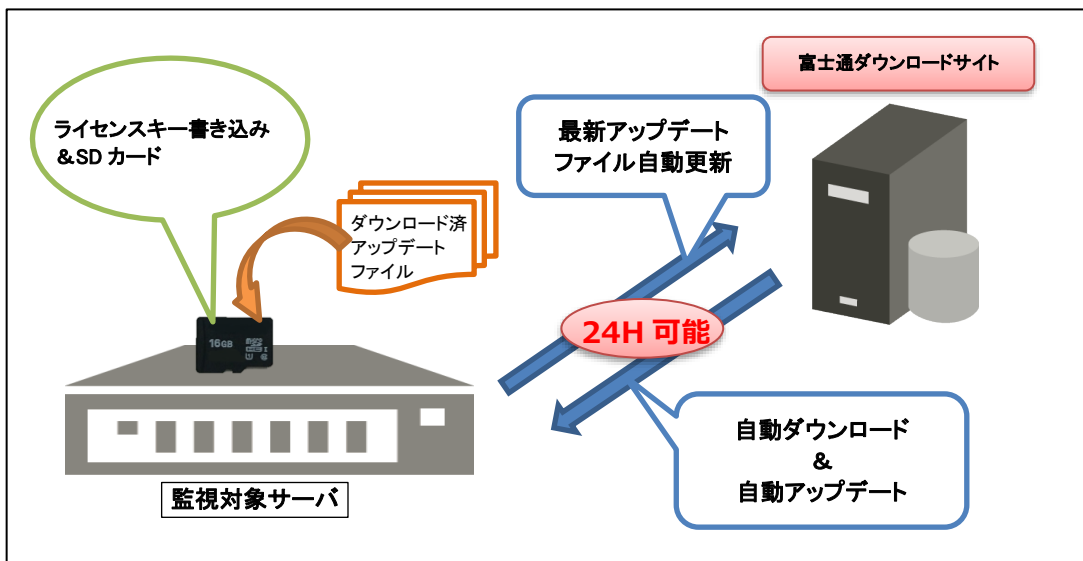
(*1): 2016 年 7 月サポート開始

①アップデート管理機能:

従来提供中アップデート管理ソフトウェア「ServerView Update Manager」の機能と同様に、BIOS/iRMC ファームウェア/ドライバ等の最新アップデートファイルを自動的にダウンロードし、SD カードに格納することにより、修正モジュールのダウンロード時間の削減が可能です。また、管理 LAN を用いてアップデートを実施するため、業務 LAN ネットワーク負荷の削減や、業務 LAN から分離したセキュアなサーバ管理が可能となります。

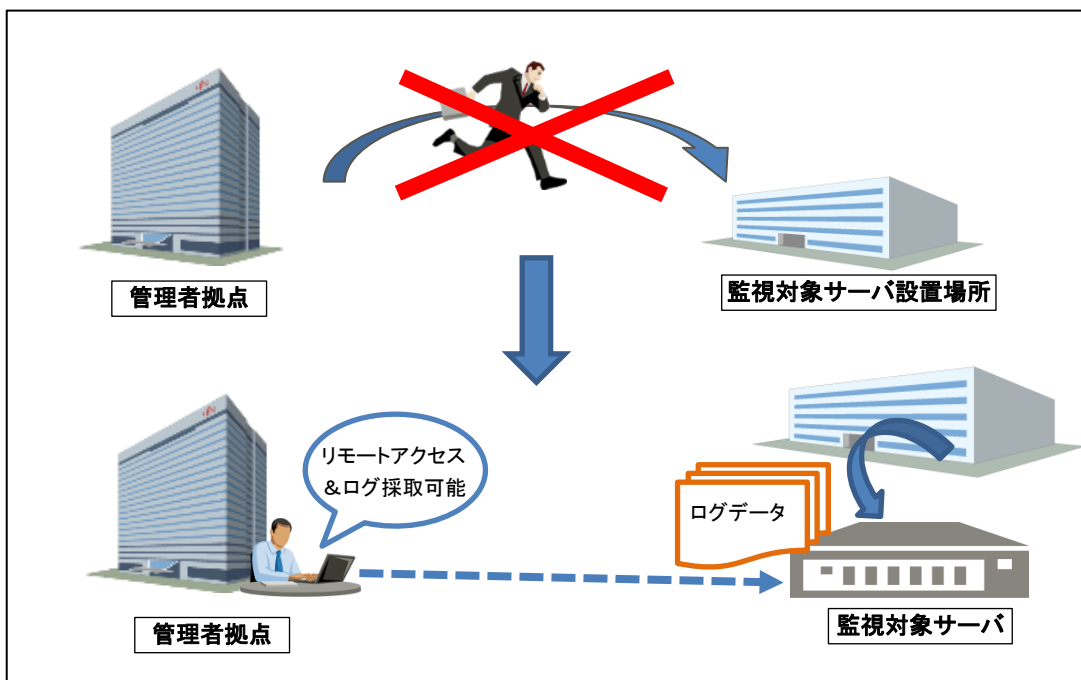


また、スケジュール運用を用いた自動アップデートも可能で、サーバの起動状況の有無、使用 OS によらず、いつでも最新アップデートファイルの検索、ダウンロード及びサーバへの適用が可能となり、常にシステムを最新の状態に維持します。



② ログデータ管理(PrimeCollect)機能

サーバ検査ソフトウェア「ServerView Prime Collect」のログデータ管理機能を Web インターフェースから実行し、ログデータをアーカイブとして最大 7 つまで SD カードに保存可能です。また、自動保存により、取得時間の異なる複数のログデータを比較することが可能なスケジュール設定や、SD カードに保存されたアーカイブは、サーバから離れた場所から Web インターフェースを利用してダウンロード可能なため、サーバ障害発生時のログ解析までの時間短縮を実現し、サーバダウンタイムの削減に貢献します。



③ イメージ管理機能

お客様の管理ツール等の iso イメージ格納用に SD カードの空きスペース(6GB)をご使用いただけます。

④インストール機能(eIM)

SD カードに格納した ISO イメージから embedded Installation Management(以下、eIM)を起動し、サーバのセットアップに必要なインストールを行うことが可能です。eIM は ServerView Installation Manager(以下、SVIM)と同等の機能を有しており、ご使用にあたっては SVIM と同一操作手順でご使用頂けます。

⑤診断機能(eDM)

SD カードに格納した ISO イメージから embedded Diagnosis Management(以下、eDM)を起動し、サーバコンポーネントの異常・故障を検出・診断することが可能です。また、キーボードやマウスの動作テストを実施することも可能です。

⑥RAID 設定機能(eRM)

SD カードに格納した ISO イメージから embedded RAID Management(以下、eRM)を起動し、サーバの内蔵ストレージについて RAID 監視・管理・設定を行うことが可能です。eRM は ServerView RAID Manager(以下、SVRM)と同等の機能を有しており、ご使用にあたっては SVRM と同一の操作手順でご使用いただけます。

(5) 対象機種

本オプションをご使用にあたっては、以下の最新 BIOS/iRMC ファームウェアの適用が必要です。

機種名	BIOS 版数	iRMC ファームウェア版数	リリース日
2015 年 4 月以降 発表機種	—	iRMC 7.7XF~	2015 年 5 月以降

<2015 年 4 月以前発表機種>

機種名	BIOS 版数	iRMC ファームウェア版数	リリース日
PRIMERGY BX920 S4	BIOS 1.10.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY BX924 S4	BIOS 1.10.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY BX2560 M1	BIOS 1.18.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY BX2580 M1	BIOS 1.18.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY RX100 S8	BIOS 2.13.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY RX200 S8	BIOS 1.9.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY RX300 S8	BIOS 1.15.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY RX350 S8	BIOS 1.15.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY RX1330 M1	BIOS 2.13.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY RX2520 M1	BIOS 1.15.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY RX2530 M1	BIOS 1.17.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY RX2540 M1	BIOS 1.17.0~	iRMC 7.69F~	2015 年 4 月
PRIMERGY RX2560 M1	BIOS 1.22.0~	iRMC 7.82F~	2015 年 5 月
PRIMERGY RX4770 M1	BIOS 1.27.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY TX140 S2	BIOS 2.13.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY TX300 S8	BIOS 1.15.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY TX1320 M1	BIOS 2.13.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY TX1330 M1	BIOS 2.13.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY TX2540 M1	BIOS 1.15.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY TX2560 M1	BIOS 1.22.0~	iRMC 7.82F~	2015 年 5 月
PRIMERGY CX2550 M1	BIOS 1.18.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月
PRIMERGY CX2570 M1	BIOS 1.18.0~	iRMC 7.73F~	2015 年 4 月

(6) 留意事項

1. 本オプションの機能は、ライフサイクルマネジメントライセンス&モジュール(PY-LCM11/ PYBLCM11/ PY-LCM12)に添付される microSD カードまたは本体ベースユニットに標準搭載出荷される microSD カードご使用時のみご利用可能です。市販の microSD カードは使用できません。
2. アップデート機能ご使用時にアップデート可能なコンポーネントの詳細については、下記当社ホームページに公開の「アップデート対象コンポーネントリスト」をご参照ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/maintain.html>

なお、アップデート機能をご使用になる場合は、事前にリモートマネジメントコントローラ(iRMC)のファームウェアを最新版にしてご使用ください。最新版は下記ダウンロードページを確認してください。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

3. アップデート機能ご使用時のリポジトリサーバ設定方法等の詳細については、下記当社ホームページに公開の「ServerView Update Management」マニュアルをご確認ください。
「製品サポート」(<https://support.ts.fujitsu.com/?lng=jp>)→「カテゴリから探す」→「Software」
→「ServerView」→「Operation」→「Update Management」
4. 本オプションのアクティベーションキーの設定方法等の詳細については、下記当社ホームページに公開の iRMC S4/S5 マニュアルをご確認ください。
「製品サポート」(<https://support.ts.fujitsu.com/?lng=jp>)→「カテゴリから探す」→「Software」
→「ServerView」→「Operation」→「Out of Band Management&iRMC」→「User Guide」
5. 一般型名(PY-LCM11/ PY-LCM12/ PY-LCM13/ PY-LCM14)にてご購入いただいた場合は、eLCM Activation Pack(アクティベーションキー生成用ドキュメント)に記載されている TAN(アクティベーションキー生成用 ID)を使用して、別途アクティベーションキーの生成作業が必要となります。
 - アクティベーションキーの生成には E-mail アドレスの登録が必要となります。
 - アクティベーションキーの生成にはインターネット環境が必要となります。
 - 生成されたアクティベーションキーは、生成時に登録した E-mail アドレスへ送信されます。(紙面での証書は発行されません)
 - アクティベーションキーの生成時に使用した E-mail アドレスおよび eLCM Advanced Pack は、アクティベーションキーの再送信の際にも必要となりますので、紛失等の無いよう管理をお願いいたします。
6. Secure Boot 設定時、イメージ管理機能はご使用になれません。イメージ管理機能ご使用の際は Secure Boot 設定を無効に設定してください。
Secure Boot 設定に関する詳細は、本体の BIOS セットアップユーティリティリファレンスマニュアルをご参照ください。
7. オンラインアップデートの「アップデート処理」設定を“なし”以外でご使用の場合、下記当社ホームページに未公開の版数のアップデートが適用される場合があります。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>
近日中に上記当社ホームページに公開されますので、問題なくご使用頂けます。

8. iRMC S4 ファームウェア版数 8.43Fに対応した ServerView embedded Lifecycle Management(eLCM) マニュアルの公開は、下記を予定しております。

マニュアル名称	公開予定日
ServerView embedded Lifecycle Management (eLCM)	公開済

9. インストール機能・診断機能・RAID 設定機能をご使用にあたっては、下記 BIOS 版数以降の適用が必要です。※下記記載以外の装置の機能サポート状況については、「(7) 制限事項」をご確認ください。

機種名	BIOS 版数	機種名	BIOS 版数
PRIMERGY CX2550 M1	BIOS 1.24.0～	PRIMERGY RX1330 M2	BIOS 1.6.0～
PRIMERGY CX2570 M1	BIOS 1.24.0～	PRIMERGY TX1320 M2	BIOS 1.6.0～
PRIMERGY CX2550 M2	BIOS 1.3.0～	PRIMERGY TX1330 M2	BIOS 1.6.0～
PRIMERGY CX2570 M2	BIOS 1.3.0～	PRIMERGY RX2510 M2	BIOS 1.6.0～
PRIMERGY BX2560 M2	BIOS 1.3.0～	PRIMERGY RX2530 M1	BIOS 1.26.0～
PRIMERGY BX2580 M2	BIOS 1.3.0～	PRIMERGY RX2530 M2	BIOS 1.6.0～
PRIMERGY RX4770 M1	BIOS 1.32.0～	PRIMERGY RX2540 M1	BIOS 1.26.0～
PRIMERGY RX4770 M2	BIOS 1.8.0～	PRIMERGY RX2540 M2	BIOS 1.6.0～
PRIMERGY RX4770 M3	BIOS 1.0.0～	PRIMERGY RX2560 M1	BIOS 1.26.0～
PRIMERGY TX2560 M1	BIOS 1.26.0～	PRIMERGY RX2560 M2	BIOS 1.6.0～
PRIMERGY TX2560 M2	BIOS 1.6.0～		

10. 診断機能(eDM)のモニタテスト(ユーザーガイドテスト)は、テスト開始後すぐに実行されます。バックグラウンド画面をクリックしてテストを進めてください。
11. 診断機能(eDM)のモニタテストでは、いくつかの画像パターンが表示されます。ピクセルの欠け、明るい箇所、暗い箇所が無いことを確認して問題が無ければ次へを押してください。最後にエラーがあったか Yes/No で選択してください。
12. 診断機能(eDM)のキーボードテストにおいて、キーボードの種類によってはキーボードの位置が、表示位置やラベルと異なる場合があります。その場合は、最後に認識されたキーに表示される情報を確認してください。
13. 診断機能(eDM)のメニューの中で、一部の項目が日本語化されていません。順次日本語対応していきます。
14. 診断機能(eDM)のメニューの中で、メニューが重なって表示されています。順次修正していきます。
15. 診断機能(eDM)で表示される診断結果において、デバイス番号がずれている場合があります。エラー部位の特定は SEL を使用して行ってください。
16. PRIMERGY RX2520M5 / RX2530M5 / RX2540M5 / RX4770M5 / TX2550M5 / CX2550M5 / CX2560M5 / CX2570M5において、診断機能(eDM)はご使用になれません。

(7) 制限事項

1. Red Hat Enterprise Linux をご使用の場合、アップデート管理機能、ログデータ管理(PrimeCollect)機能はご使用になれません。
※iRMC 7.82F にて制限解除済み。CX2550M1/CX2570M1 は、iRMC7.84F にて制限解除済み。

2. アップデート管理機能、ログデータ管理(PrimeCollect)機能のスケジュールモード*1はご使用になれません。(*1: 毎日、毎週、毎月、毎年、1 回のみ)
※iRMC 7.82F にて制限解除済み。CX2550M1/CX2570M1 は、iRMC7.84F にて制限解除済み。
3. アップデート管理機能を使用して BIOS をアップデートした場合、システムが自動で再起動しない場合があります。その場合、手動でシステムの再起動を行ってください。
※iRMC 7.82F にて制限解除済み。CX2550M1/CX2570M1 は、iRMC7.84F にて制限解除済み。
4. UEFI モードをご使用の場合、アップデート管理機能、ログデータ管理(PrimeCollect)機能はご使用になれません。
※iRMC 8.03F にて制限解除済み。CX2550M1/CX2570M1 は、iRMC8.11F にて制限解除済み。
(BX920S4/BX924S4/BX2560M1/BX2580M1 は、2016 年 12 月制限解除済み。)
5. PRIMERGY RX4770 M2 をご使用の場合、オフラインアップデート機能を使用した iRMC ファームウェアのアップデートを行うことができません。
※iRMC 7.84F にて制限解除済み。
6. iRMC ファームウェア 8.24F 以降を適用時に追加されるデプロイメント機能はご使用になれません。
※iRMC 8.43Fにて制限解除済み。
7. 下記装置をご使用の場合、インストール機能・診断機能・RAID 設定機能はご使用になれません。

機種名			
PRIMERGY BX920 S4	PRIMERGY RX100 S8	PRIMERGY RX1330 M1	PRIMERGY TX300 S8
PRIMERGY BX924 S4	PRIMERGY RX200 S8	PRIMERGY RX2510 M1	PRIMERGY TX1320 M1
PRIMERGY BX2560 M1	PRIMERGY RX300 S8	PRIMERGY RX2520 M1	PRIMERGY TX1330 M1
PRIMERGY BX2580 M1	PRIMERGY RX350 S8	PRIMERGY TX140 S2	PRIMERGY TX2540 M1

8. PRIMERGY RX2530 M2 において、アップデート管理機能を使用して BIOS 1.12.0 へのアップデートはできません。ダウンロードサイトよりモジュールをダウンロードしてアップデートしてください。

(8) ご参考

1. 本オプションの概要については、下記当社ホームページに公開の ServerView embedded Lifecycle Management(eLCM) マニュアルもあわせてご確認ください。
「製品サポート」(<https://support.ts.fujitsu.com/?lng=jp>)→「カテゴリから探す」→「Software」
→「ServerView」→「Operation」→「Out of Band Management&iRMC」→「Manuals」
2. 本オプションの取扱い方法等の詳細については、下記当社ホームページに公開の iRMC S4/S5/S6 マニュアルをご確認ください。
「製品サポート」(<https://support.ts.fujitsu.com/?lng=jp>)→「カテゴリから探す」→「Software」
→「ServerView」→「Operation」→「Out of Band Management&iRMC」→「User Guide」